

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 新任
建築計画Ⅱ Architectural plan Ⅱ	4	後期・講義・1単位	研 究 室 A棟2階 (A-218)
履修単位科目			内線電話 8982
科目到達レベル： <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			e-mail:
【授業目的】 前半は集合住宅の配置計画，共用部分の計画，専用部分の平面計画について解説し，後半はさまざまな機能別施設の計画とそれらの複合計画について解説する。			
【Course Objectives】 1. Skills for design of house space. 2. Skills for presentation and planning.			
【到達目標】 ①低層集合住宅の計画がわかる。 ②中層集合住宅の計画がわかる。 ③高層集合住宅の計画がわかる。 ④オフィスと商業施設の計画ができる。 ⑤複合施設の計画ができる。			
【学習・教育到達目標】 (B) 専門分野の基礎知識を修得し，技術の実践に応用できる。			
【キーワード】 建築計画 建築設計 Architectural plan, Architectural design		【授業時間】 2時間(90分)×15週=30単位時間(22.5時間)	
【授業方法】 テキストを中心に，パワーポイント，ビデオなどを用いて視覚的に解説する。 また，毎回ミニテストを行う。		【学習方法】 建築雑誌や作品集に掲載された実作品の設計意図を理解するように心がけ，設計製図などに応用すること。	
【履修上の注意】 講義内容から中間試験と期末試験を課す。		【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 建築計画Ⅰ 2. 後で履修する関連科目 3. 同時に履修する関連科目	
【定期試験の実施方法】 中間試験及び期末試験の2回の試験を実施する。			
【成績の評価方法・評価基準】 中間試験及び期末試験の平均点で評価する。 低，中高層それぞれの集合住宅の「特徴と配置計画」，「共用部分の計画」，「専用部分の計画」，「インテリア計画」及びオフィスについての「複合計画」，「SOHO」，「集合住宅と商業施設」，「店舗」，「展示施設」など，上記の到達目標における各項目の基本を理解していることを評価基準とする。			

【教科書・教材等】			
教科書：プリント配布 教材：プリント配布			
【参考書・参照 URL 等】			
【授業計画】			
期別・週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
前	第1週		
	第2週		
	第3週		
	第4週		
	第5週		
	第6週		
	第7週		
	★前期中間試験		
期	第9週		
	第10週		
	第11週		
	第12週		
	第13週		
	第14週		
	第15週		
	★前期期末試験		
	前期期末試験返却，到達度確認		
後	第1週	シラバスの説明	①
	第2週	集合住宅とは（一戸建住宅との比較によるメリットとデメリット）	①
	第3週	低層集合住宅 特徴と配置計画，共用部分の計画，専用部分の計画	①
	第4週	中層集合住宅 特徴と配置計画，共用部分の計画，専用部分の計画	②
	第5週	高層集合住宅 特徴と配置計画，共用部分の計画，専用部分の計画	③
	第6週	集合住宅の構造と設備の計画	③
	第7週	集合住宅のインテリア計画	③
	★後期中間試験		
期	第9週	オフィスの計画	④
	第10週	複合計画とは（共用部分と専用部分）	④
	第11週	S O H O の計画	④
	第12週	集合住宅と商業施設の複合計画	⑤
	第13週	商業施設の計画① 物販店舗，飲食店舗	⑤
	第14週	商業施設の計画② 展示施設，多目的ホール	⑤
	第15週	物販・飲食店舗と他の商業施設との複合計画	⑤
	★後期期末試験		
	後期期末試験返却，到達度確認		
【学生へのメッセージ】			
身近な集合住宅をよく観察しよう。			